



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

グラウンド・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社

代表取締役 佐藤 明彦

(JASDAQ・コード番号：8783)

問い合わせ先 取締役 平野 公久

電話 03-5532-1031

**連結決算開始に伴う平成 22 年 3 月期連結業績予想及び
個別業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、平成 21 年 10 月 2 日付「21 世紀アセットマネジメント株式会社の株式の取得（子会社化）及び新規事業開始に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、21 世紀アセットマネジメント株式会社を子会社化いたしました。

本件に伴い、当第 3 四半期より連結決算を行うこととなりましたので下記のとおり平成 22 年 3 月期の通期連結業績予想をお知らせいたします。

また、最近の業績動向などを踏まえ、平成 21 年 5 月 14 日付「平成 21 年 3 月期 決算短信（非連結）」にて発表いたしました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の第 2 四半期累計期間及び通期の個別業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 業績予想の修正

(1) 通期連結業績予想（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
通期予想	百万円 230	百万円 ▲142	百万円 ▲139	百万円 ▲113	円 銭 ▲7,547.52

(2) 第2四半期累計期間個別業績予想(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 90	百万円 3	百万円 3	百万円 3	円 銭 199.40
今回修正(B)	20	▲71	▲70	▲68	▲4,567.05
増減額(B-A)	▲70	▲74	▲73	▲71	—
増減率	▲77.8%	—%	—%	—%	—%

(3) 通期個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 180	百万円 14	百万円 16	百万円 16	円 銭 1,063.48
今回修正(B)	117	▲62	▲59	▲59	▲3,952.74
増減額(B-A)	▲63	▲76	▲75	▲75	—
増減率	▲35.0%	—%	—%	—%	—%

(4) 修正理由

当社の主たる事業領域である不動産流動化・証券化市場においては、不動産取引は個人投資家等を中心とした小額取引を除き依然として低調であり、政府等によるREIT支援策が打ち出されているものの、金融機関による融資姿勢が積極化する兆しはまだ見られず、このため証券化手法によるファイナンス案件の組成需要は大きく停滞した状況が続いております。

このような厳しい事業環境にあつて、当社は平成21年5月14日付「インリックス株式会社との業務提携に関するお知らせ」にありますようにインリックス株式会社と業務提携を行い、不動産物件周りのサービスの充実を図り、また、資産家の資金をデット性の投資資金として取り込み、不動産へ共同投資する形を取る新スキームを構築して、営業収益の確保を図りましたが、主業務であるストラクチャリング業務収益が大幅に落ち込むため、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益については、当初の業績予想を下回る見込みです。

営業収益につきましては、見込んでいたストラクチャリング業務収益の受注が困難となったため、上半期の予想を20百万円に修正いたします。

利益面につきましては、固定費削減の取り組みとして平成21年9月より支払家賃が減少となっておりますが、上述のとおり営業収益の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益の予想をそれぞれ修正いたします。

また、下半期につきましても、当社の事業領域である不動産市場・金融市場の混乱が急速に回復

するとは見込み難く、当社の業務環境については、上半期と同様に厳しい受注環境が継続すると予想されます。これらを総合的に勘案し、通期業績予想を修正いたします。

通期連結業績予想につきましては、平成21年10月2日付「21世紀アセットマネジメント株式会社の株式の取得（子会社化）及び新規事業の開始に関するお知らせ」にありますとおり、子会社の取得を行い、平成22年3月期第3四半期より連結決算を開始することとなります。これにより営業収益につきましては230百万円、経常損失については139百万円となる見込みです。21世紀アセットマネジメント株式会社は当社の掲げる「金融モール」の展開において、特に金融投資商品に係る製造・組成機能、運用機能、販売機能を担うこととなります。また、その運用能力や機関投資家等とのパイプを有機的に利用することにより、収益貢献だけではなく、「金融モール」の展開において中心的な役割を果たしていく予定であります。

また、今回公表しております連結業績予想の範囲に、平成21年10月21日に開示しております中銀律師@事務所との業務提携は含まれておりません。中銀律師@事務所との取組が連結業績へ与える影響につきましては、現時点で未定でございますが、確定次第ただちにお知らせいたします。

(5) ご参考：前期の実績（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
第2四半期累計期間	76	▲19	▲17	▲50
通 期	108	▲77	▲75	▲257

2. その他（配当金について）

配当金につきましては、従来予想を修正せず、期末配当金1株当たり500円を予定しております。

(注) 上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上